

Guide For Teachers • 私は小児科看護法をこう教えている

母 親 指 導

看護婦は母親に正しい調乳の方法を教える責務があることを自覚しなければならない。

i. 指導を受ける母親の知識程度及び生活環境を考えながら指導をする。

ii. 調乳から授乳までの清潔な方法を教える。

iii. 哺乳ごとに行なう調乳法を教えたほうが安全である。

お わ り に

看護学院における教授内容は、多くの教科書に述べられている基礎的なことから要領よくまとめ、しかも実際に則して最少限度でかつ最も必要な知識を教授することにあると思います。私は以上の考えのもとに与えられた割当て時間に小児科看護法を教授することを目標とし、調乳法の実際について教える内容の概略を記したしだいです。

(国立相模原病院小児科病棟婦長)

編集デスク <17>

地方から上京したさる大学の医学部教授が嘆いていた。近頃の大学は単なる知識の切り売り買いになってしまって、学生は心に満たされない空虚感を持っている。ツイストなどという刹那的なものを非難することは容易だが、私はそれを非難することを止めた、と。世をあげてとうとうたる勢いで軽薄に流れてゆく世相を嘆き、刹那的なもの、うわべだけのもの、皮相に命をかける浮薄な態度を慨嘆していたのである。

自然科学の進歩は、世の中に処してゆく実用的な知識を教える。文明開化の基礎になったものは、自然科学の知識である。自然科学の本質は没価値的なところにある。その開発された知識の結果が、どのように人間の世界にかかわるかということは自然科学の世界の領域のことではなくて、人文科学、社会科学の世界の領域のことに属する。価値というも

のと無関係に真理を追求しようとする無関心性を自然科学の方法論は基本に持つ。自然科学の開発された知識は、人間を便利な世界に導きはするが、そこでは人間を作らない。人間を作るのは、別のメカニズムである。もの知りが、人間としての価値の高いものとは一概に断ずることのできないゆえである。

ものを多く知っていて賢いことは

(ツイストに思う)

——長谷川 泉——

ものを知らないで愚者であることよりもよいことであることは否定できない。しかしながら、賢者は必ずしも善人ではない。賢者必ずしも世の中を幸福にはしない。知識が進み、その結果を正しく世に用いることをすれば、賢者と知者はすなわち、世の幸福の推進者とイコールにつながるであろう。しかし、この世の中の実情は、どうもそうではないようで

ある。

自然科学は無関心的に真理をあきらかにしてゆくが、それは実的な面がとりあげられることによつて世の中をより便利に開発してゆくであろう。しかし、それと相補的に文化科学としての哲学や倫理に根をおろしたような人間の思索が深められてゆかなければ人間と人間の社会は、かたわなものになってゆかざるを得ないだろう。

人間とは、複雑なものである。人間の精神構造は、単に知識だけでは豊にされない。その知識と表裏をなして、人間を深めてゆく何か言うに言われぬものの要素があることも無視できない。科学を忘れた人間でも世におき去りにされる。しかしまたこの言うに言われぬ隠微の人間性を忘れて、科学だけに執した人間が、何と平板で表相的なものになってゆくことか。教授の嘆きは、そのようなことにつながっていた。